

2019年1月8日

**「臍帯血移植に対するタクロリムス/ソルメドロールとタクロリムス/メソトレキセートによるGVHD 予防法の比較」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4243
研究課題名	臍帯血移植に対するタクロリムス/ソルメドロールとタクロリムス/メソトレキセートによるGVHD 予防法の比較
所属(診療科等)	小児科
研究責任者(職名)	重村倫成(講師)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年3月31日
研究の意義、目的	これまで当院では臍帯血移植に対するGVHD 予防として主にタクロリムス/ソルメドロールとタクロリムス/メソトレキセートを使用してきました。カルテ録から後方的に検証することで、より安全でかつ効果的な臍帯血移植に対するGVHD 予防法を確立したいと考えます。
対象となる患者さん	2007年1月16日から2018年8月31日の期間に当院で臍帯血移植を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、検査結果、前処置治療、移植宿主病予防・治療、好中球、血小板生着、移植後の生存の有無、合併症の有無など情報
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、タクロリムス/ソルメドロールとタクロリムス/メソトレキセートによるGVHD予防で2群間に分け、両群間を比較検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 重村倫成 小児医学教室・講師 電話:0263-37-2642

**診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。